

コーヒーの未来を つくり上げる



**WORLD COFFEE
RESEARCH**

WCRについて



ワールドコーヒーリサーチは、29か国の170社以上が協力して、コー
ヒーの未来を確かなものにするために世界的な共同研究開発を推進
する機関です



WCRは、集団的な投資こそが何世代にもわたる革新的なインパクトを生み出すことができると考え、コーヒー農業のイノベーションに全世界のコーヒー業界が投資できるように支援しています。

WCRが橋渡し



生産者 + 国内の
コーヒープログラム



焙煎所 + 業界

最先端の研究が共通の優先事項を促進

WCRチームには、世界16か国から集まった人々が働いています



Flor Amarilla
試験農場
エルサルバドル

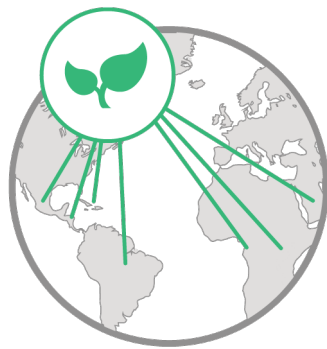


Dr. Jennifer "Vern"
Long、CEO



Dr. Tania Humphrey、
研究開発ディレクター

WCRの目標は、複数の
戦略的な対象国で緊急
に取り組むことにより、
気候変動の危機に直面し
ている生産地の多様性
を保護することです。



コーヒー業界にとって極めて重要な持続可能性と事業目的を達成するために、コーヒーの品種を強化します



生産性、気候レジリエンス、
生産者の収益性を高める



さまざまな市場のために
品質を改善



サプライチェーンの
リスクを削減

WCRの存在理由



生産者の選択肢を広げる品種イノベーションWCRは理想の 業界を描き、それを実現するための品種を共に作り出します



十分な太陽光を増や
すためのシステム

品種の選択は
持続可能な農
業にとって非
常に重要です

品種ごとによく育
つ栽培システムも
異なります。



再生アグロフォレストリー
(農業・林業) システム

イノベーションは重要です。それでも大半のコーヒー生産者は、50年以上にわたって改良されていない品種を使用しています



あまりに多くの生産者がこう
した品種を使っています

それでも必要なのです

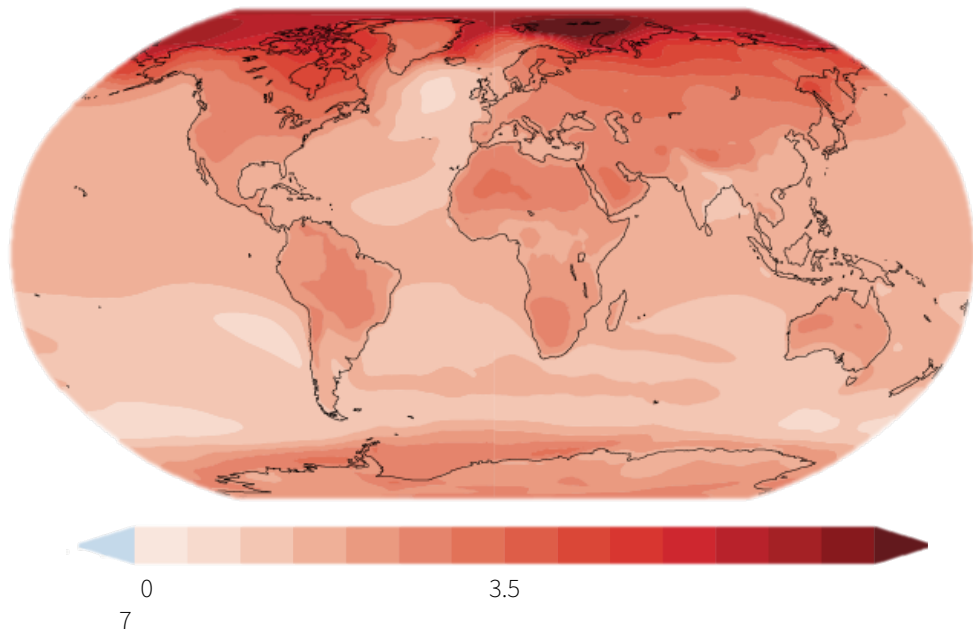
品種改良は気候変動に対応するためのもっともパワフルな手段のひとつです。

コーヒーにとっての問題は？

現在の品種は、高温、予想困難な降雨、極度の干ばつ、嵐、熱波、霜＋病害の増加に弱いものです。

結末は？

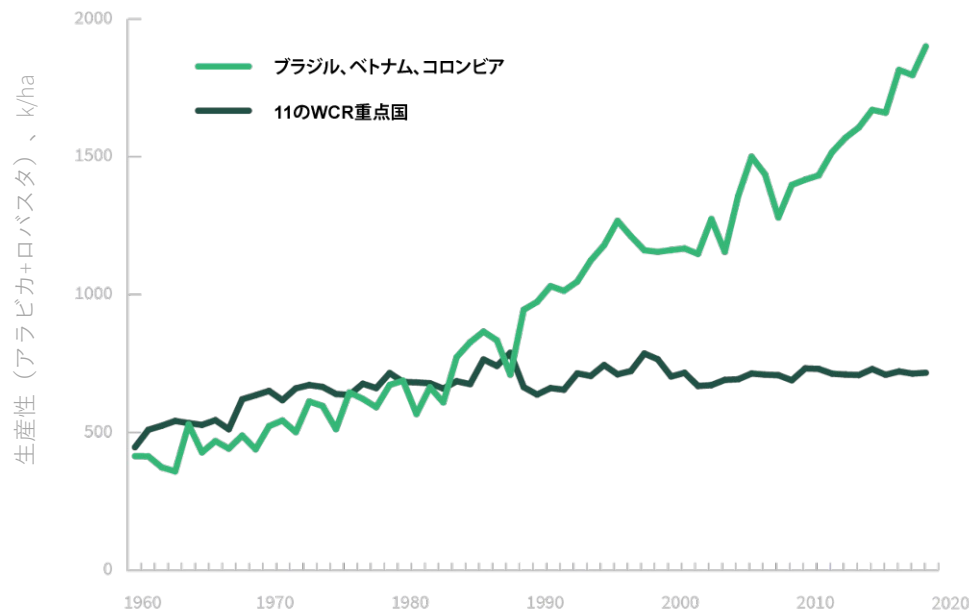
- コーヒーの安定供給と品質が予想不可能に
- 生産コストが高まり、生産者の経済的安定が失われる
- 企業が不確実な供給に直面し、サプライチェーンで生じる結果への説明責任が高まるリスク



世界はより暑く、予測不能になっている。1850~1900年に比べると、世界の予測平均気温は2°C上昇している。

気候変動による生産性の低下——森林伐採の圧力が高まり、生産者の収入が減少します

1ヘクタールごとのコーヒー（生産性）、1960～2021年²



気候変動は世界のコーヒー供給を一元化させ、**生産性の格差を加速させます**。農業従事者や環境への影響は甚大です。

今日、わずか3か国だけで世界のコーヒーの60%以上を生産しています。他の国々では生産量が伸び悩んでいます。

¹International Coffee Organization貿易統計、2021年

²チャートデータ：FAOSTAT、2022年

コーヒーは世界的に莫大な経済的価値があるにもかかわらず、世界でも有数の**調査不足** かつ**イノベーション不足**の作物です



UPOV登録のコーヒーは
111品種



リンゴの品種ではコーヒーに比べてイノベーションが48倍進んでいます。

イノベーションへの投資が世界のコーヒーセクターの回復力と成長を促します

世界的なコーヒーの栽培研究開発投資の格差

4億5,200

万

ドル/年

現在の投資額

1億1,500

万

必要な投資額

5億6,700

万

ドル/年

研究開発で可能なこと





品種改良は広範囲に影響を与えます。つまり、全世界の何百万もの生産者に恩恵をもたらす可能性があります。

品種改良の仕組み



研究者は新種を開発し
試験する



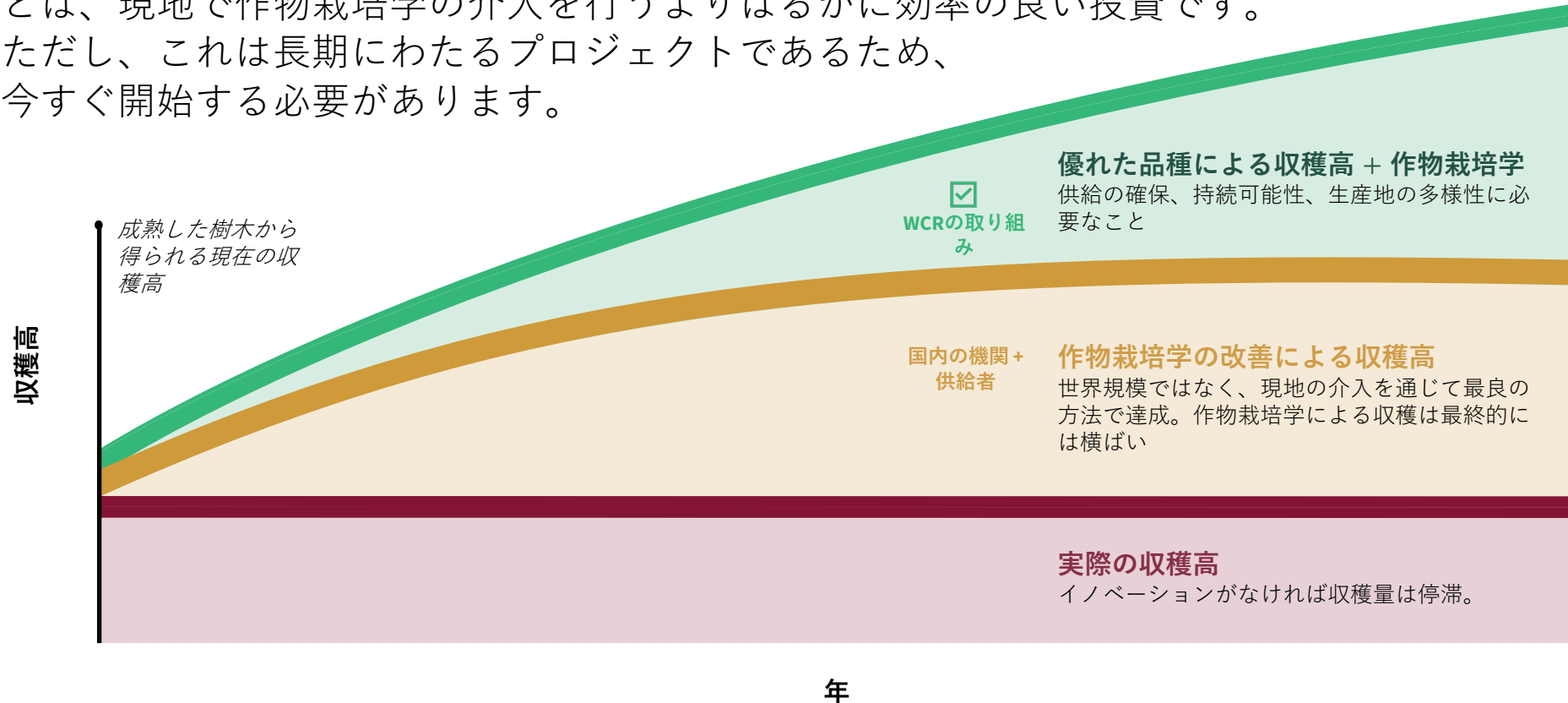
効率的な種子産業分野により
生産者が新種を入手できるよう
になる



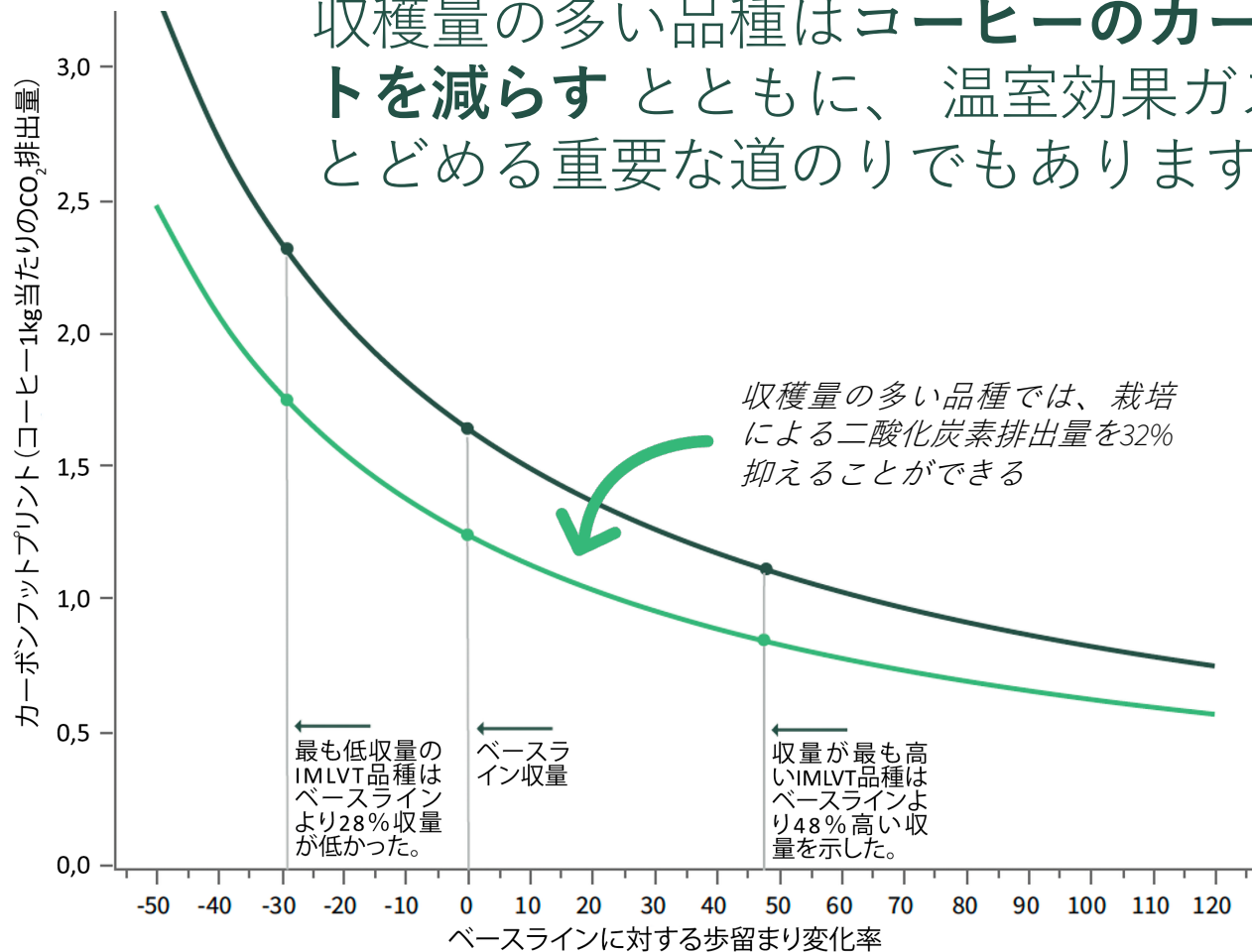
新種が農場で栽培され、
品質、収穫高、収益性が
向上する

なぜ品種なのか？ 作物栽培学の面での最適化ができれば、生産性を上げるために品種改良が必要になります。WCRのようなグローバル企業にとって、品種改良を行うことは、現地で作物栽培学の介入を行うよりはるかに効率の良い投資です。

ただし、これは長期にわたるプロジェクトであるため、今すぐ開始する必要があります。



収穫量の多い品種はコーヒーのカーボンフットプリントを減らすとともに、温室効果ガス排出の増加を押しとどめる重要な道のりでもあります



このインパクトは、コーヒーの改良された炭素会計手法と、18カ国で実施された世界最大のアラビカ品種性能試験から得られた実際の品種性能データを用いてモデル化されたものです。

品種改良は、持続的成長と事業上の複数の課題に同時に対処できる可能性があります。



病害と害虫に
対する耐性



高収穫高



気候レジリ
エンス



品質



財政的安定+収益性



農薬の使用



地球温暖化
ガス排出



土地利用の転換/
森林破壊

研究がコーヒーの 「美味しさ」を改善

コーヒーがどのくらい美味なのか、
コーヒーは地球にとってどのくらい
良いのか、コーヒーを栽培している人々
にとってどのくらい良いのか

現在実施している研究はコーヒーの
未来を決定します



A close-up photograph of a person's hands planting small green seedlings into a field of light-colored soil. The person is wearing a dark blue shirt and brown pants. The seedlings are arranged in rows, and the person is carefully placing them into the ground. The background is slightly blurred, showing more of the field and some green foliage.

WCRができること

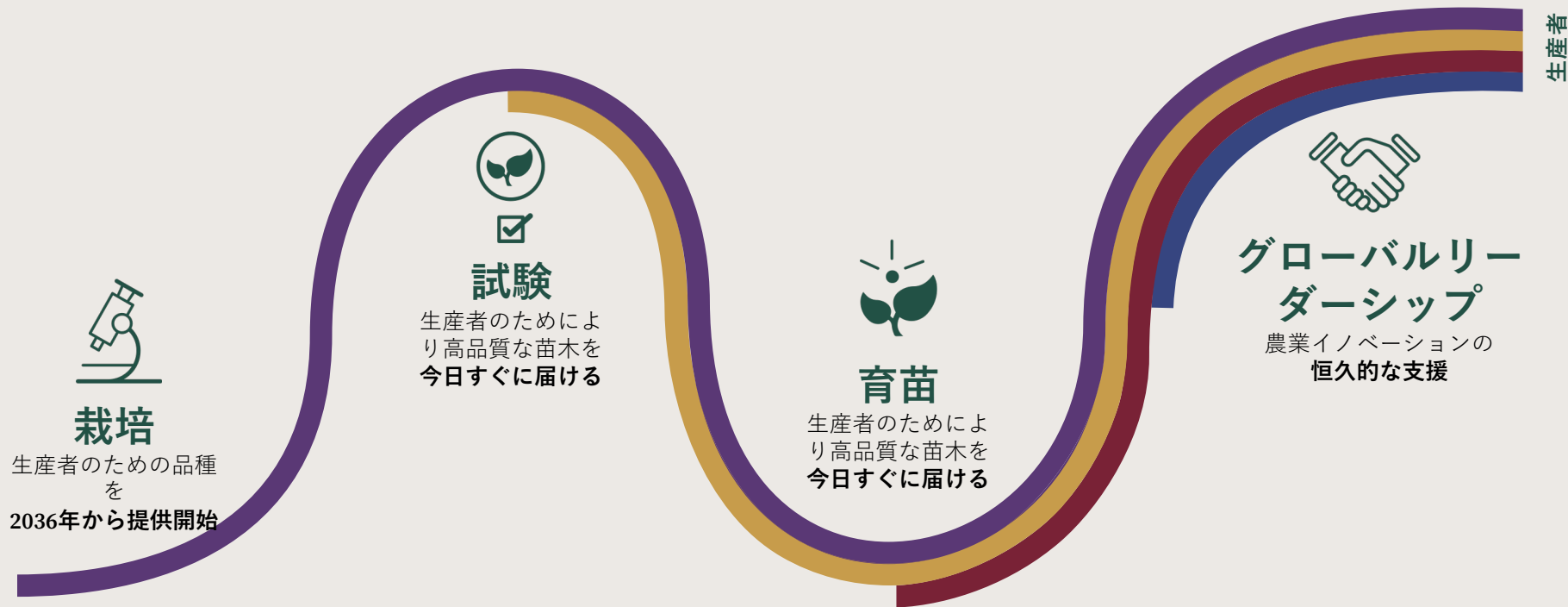
最良のコーヒー品種を生産者の 手に届けるための4つの統合 プログラム分野

1. 近代的な需要主導型グローバルコーヒー栽培
2. **試験**、品種評価を行い、品種を入手できるようにする
3. **育苗および種子産業分野**の強化
4. グローバル規模の**支援と提携**



現在も未来も成果を出す

コーヒーなどの樹木作物では、新しいイノベーションが生産者に広く受け入れられるようになるまでに時間がかかります。その理由は、プログラム分野が短期、中期、長期の成果を出せるようにカスタマイズされているためです。



栽培

品種改良とシステム

コーヒー業界を脅かすコーヒー作物の品種改良の深刻な欠落に対処するため、WCRと関係国のパートナーは世界的なコーヒーの品種改良ネットワークを立ち上げました

- 8か国でアラビカ種（2022年）
+ ロブスタ種（2024年）
- 既存の品種を組み合わせるのではなく、地域に合わせた、より優れた品種



20～30
年で農業従事
者へ



世界に1,250万ある家族経営コーヒー生産者の50%

世界のコーヒー供給量の30%

生産地の多様性を保護するために、WCRはコーヒーの多様な供給を確保するのに不可欠な11の重点対象国で優先的に取り組んでいます。

WCRは価値の高い応用研究を実施し、業界と各国政府に イノベーションへの投資を促します

WCRが直接行う作業

業界への投資

- 近代的な需要主導型栽培
- グローバル品種試験
- 育苗および種子産業分野の強化

WCRによる支援

公的資金を集める

コーヒーセクターが直面しているより大きく広範な課題に対処するため、消費国の政府から受けるグローバル研究調査資金を増額する

コーヒーの未来

現在の投資額

供給リスクの低減、生産地の多様性の拡大、市場における差別化の確保、気候目標と持続可能目標への到達

栽培

イノベーションとシステム

最新の栽培ツールとグローバルな協働作業を活用した、他に類のない当社の栽培ネットワークが世界のコーヒー栽培を変革し、業界の新しいチャンスの幕開けに向けて礎を築きます。

- 9カ国によるアラビカ種のグローバルネットワーク
- 2024年にはロバスタ種のグローバルネットワークが発足
- 生産者によりよい品種をより速く届ける

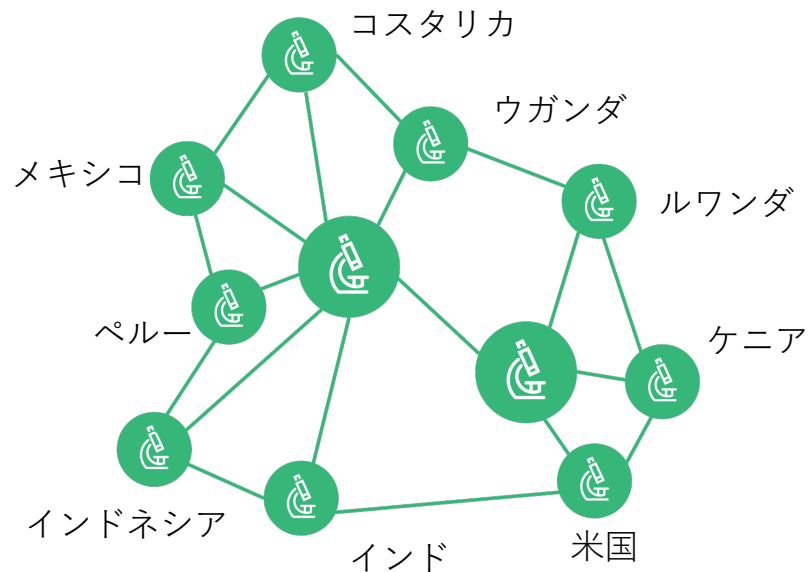
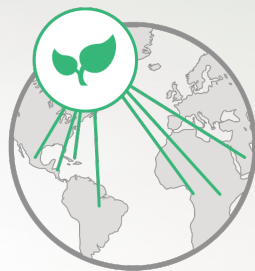
2036年

最初の新品種が生産者のもとに



Innovea

グローバルコーヒー 栽培ネットワーク



- 11の拠点に5,000本の新しい独自の木
- グローバルな協働作業（9カ国のパートナー）
- 世界クラスの栽培チーム
- グローバルな試験により、現地のニーズに合わせた気候変動に強い木を確実に育てる
- 最初の新品種は2036年に生産者のもとに

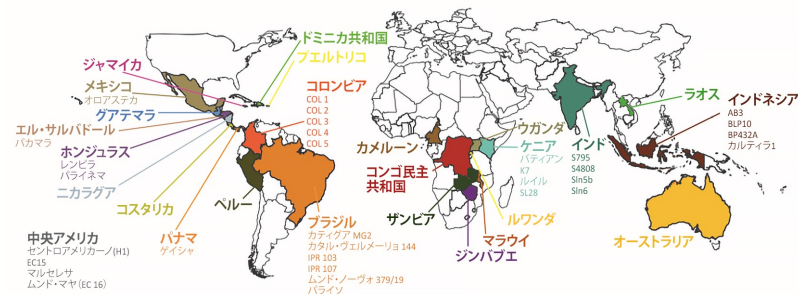
試験

農場でのパフォーマンスと品質

当社の試験では各国が現行のもっとも優れた品種を評価し、アクセスできるように支援します。

他地域実証試験

18か国で31の最良品種



F1ハイブリッド4種の最終候補が2024年に
実地栽培試験へ

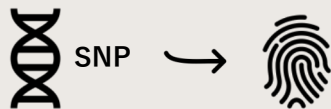
2029年
改良品種が
生産者のも
とに

育苗

と種子のバリューチェーン

現代の生産者に質の高い樹木を提供するために、WCRは種子システムの強化、種子の純正化、育苗の育成を行っています

品種のDNAフィンガープリント
法向け新しい低コストSNPマーカー+グローバルプロバイダー
との契約=品質保証



1~7年
で
生産者へ
現在



グローバル リーダーシップ

グローバルな課題を推進し、共通の価値を提供するために、WCRは全世界のコーヒーの研究開発に優先順位を設定し、協力関係を構築し、すべての人が利用可能な知識を蓄積し、支援と資金の拡大を主導します。

WCRが直接行う作業

WCRによる支援

コーヒーの未来

WCRの会員が力を結集して対応していること

170以上の企業

業界のニーズに対処する
研究ポートフォリオ

農場の生産性、
収益性+気候
レジリエンス

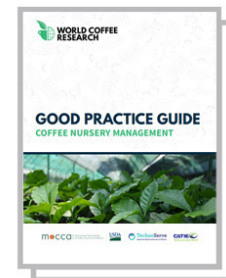
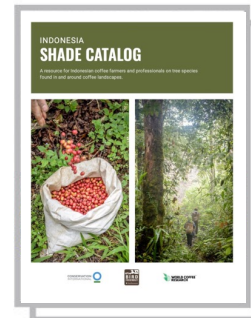
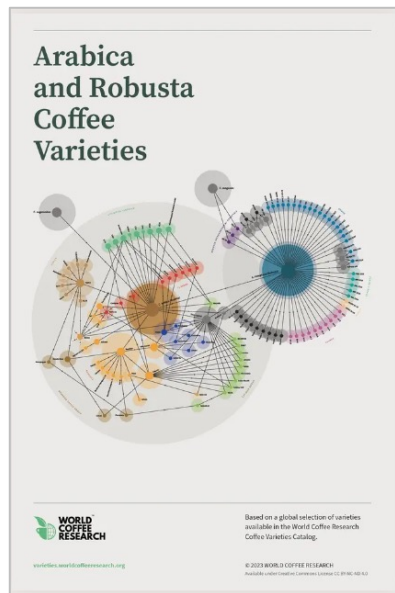
安全で
多様な
供給

品質

優先事項を実現
するための公的
資金の増加を引
き出す



WCRは、生産者と業界向けに誰でも無料で利用可能なリソースを作成しています。



WCRの刊行物は、99 か国から650,000 回以上アクセスされました

worldcoffeeresearch.org/resources



WCRは、**今日および今後の世代のため**
に高品質コーヒーの多様で持続的な供給
を緊急に確保するために、全世界のコー
ヒー業界と一致団結し、科学に基づいた
農業に関する解決策を促進しています。

WCRの**ミッション**は、コーヒーを生産する家族の暮ら
しを向上させながら、高品質コーヒーの供給を拡大、
保護、強化することです。

WCRのチームは”世界”をひとつに
WCRには世界16か国から集まった29名の職員が働い
ています。